

28 学校教育

現状

- 学校施設は幼稚園2（民間1）、小学校3校、中学校2校、道立高校1校があります。
- 平成19年度に小学校3校を統合し「江差北小学校」を、平成14年度に中学校3校を統合し「江差北中学校」をそれぞれ開校しました。

[表31] 学校別児童・生徒数の状況（平成22年5月1日現在）

区 分		学年別児童・生徒数（人）								前年数	前年との
		1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	特別支援	計	(H21、人)	増減率
小 学 校	江 差	33	35	41	27	30	18	7	191	192	-0.5%
	南が丘	20	27	11	18	15	22	4	117	127	-7.9%
	江差北	21	17	25	23	21	23	6	136	133	2.3%
	計	74	79	77	68	66	63	17	444	452	-1.8%
中 学 校	江 差	59	70	51				3	183	174	5.2%
	江差北	21	18	17					56	47	19.1%
	計	80	88	68				3	239	221	8.1%
合計	5校								683	673	1.5%

（学校基本調査）

- 小・中学校では、社会の変化に対応できる「生きる力」の育成を最重点に据え、「確かな学力」「豊かな心」「たくましい健やかな心身」の育成を教育活動の三本柱として推進しています。また、年度の重点や最重要課題を住民にも示し、教育活動の活性化と内容の充実を図っています。
- 小中学校9年間を通した学びの連続性を確保していくため、統合された北小・中において、小中一貫教育を推進しています。
- 江差小学校校舎については耐震性を確保するための改修が行われています。江差中学校を除く、他の小・中学校校舎については耐震性が確保されています。

課題

- 江差中学校の改築整備については、建築後40年以上を経過しており、今計画の重要な課題です。
- 教職員の住宅整備については小修理を中心に順次整備を行っていますが、老朽住宅が多く、教職員の住宅ニーズと乖離しており、自宅所有者や共稼ぎによる他町からの通勤者が増加し、空き家が増えています。今後の教職員住宅のあり方について検討が必要になっています。
- 家庭や地域から信頼される「学校づくり」をめざし、小・中学校教育の具体的な方向性について、中・長期的な見通しを持った教育計画の整備、充実が求められています。
- 近年、特別支援学級や通常学級に在籍する特別な教育を必要とする児童生徒が増加しており、特別支援教育の充実が求められています。
- 小中一貫教育の成果を他3校においても波及させていく必要があります。
- 生涯学習の基礎を培うという観点から、学校、家庭、地域が有する教育機能をより一層発揮し、相互に補完することが求められています。また、学力向上、いじめ、不登校、非行問題など、多くの課題が山積している渦中であって、当町の主体性や独自性、地域性を損なうことなく、江差町の未来を担う「人づくり（江差っ子づくり）」のため、学校、家庭、地

域、教育行政が一体となり、より質の高い教育の実現をめざして総意と英知を結集する必要があります。

- 江差、上ノ国、厚沢部の3町で組織されている江差町ほか2町学校給食組合の給食センターの施設や設備は老朽化が進んでおり整備を計画的に進め、安全で美味しい給食づくりにつとめ、食育の推進を図る必要があります。

課題解決に向けた基本方針

- ・ 施設設備の更新、耐震化を計画的に進めます。
- ・ 家庭、地域に信頼され、魅力ある小学校・中学校教育の充実を図ります。
- ・ 特別支援教育の充実を図ります。
- ・ いじめ、不登校への対策を充実させます。
- ・ 地域住民の参加協力による地域色のある教育機会を提供します。

具体的な施策

幼児教育の推進	・ 一人ひとりの人間形成の基礎を培う幼児教育の充実
学校教育関連施設の整備	・ 老朽校舎改築整備の促進（江差中学校の改築に向けた検討） ・ 学校施設耐震化工事の推進（江差小学校の耐震化） ・ 教職員住宅の整備並びに教職員住宅のあり方の検討 ・ 老朽化した給食センターの施設や設備の整備促進
小・中学校教育の充実	・ 創意と活力に満ちた学校づくりと学力の向上をめざす教育の推進（読書の習慣化等の推進） ・ ふるさと江差に学ぶ特色ある教育活動の推進（ふるさと江差発見事業や江差追分、尺八学習等の推進） ・ 思いやりと自らを律する心を育てる生徒指導の充実（いじめや不登校などの未然防止等の推進） ・ 豊かな人間性の育成をめざす道德教育の充実（命の大切さの学習等の推進） ・ 健やかな心と身体を育てる健康・安全指導の充実（運動の生活化や教育相談体制の整備等の推進） ・ 教育的ニーズに応じて自立、社会参加を促す特別支援教育の充実（江差町特別支援教育連絡会議の充実等の推進） ・ 校内研修の充実と教職員の資質の向上（実践的指導力を高める校内研修等の推進） ・ 北小・中学校小中一貫教育の推進（小中9年間の教科カリキュラムの確立、実践等の推進）
高等学校の維持	・ 単位制の充実及び檜山第1学区全体での間口維持方策の検討
家庭、地域の教育力の向上	・ 家庭、地域、学校と連携し、江差に学び、江差と歩む「江差っ子」の育成